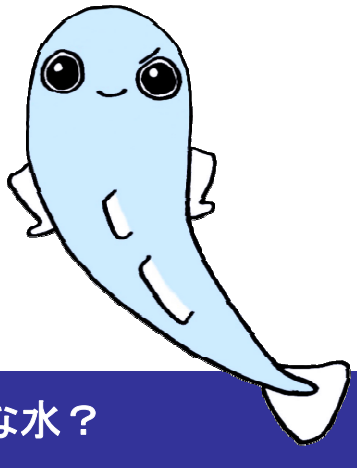
安城市水道事業PRマスコットキャラクター

メダカのジョー　です！

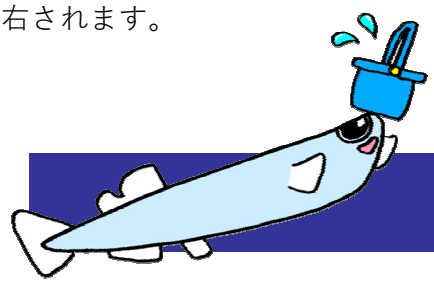
安城市の水道水を配っている北部浄水場で飼われているメダカ。
水について、いつも考えて生活しているよ。
今日は「おいしい水」について、浄水場の人に聞いてみましょう。



おいしい水ってどんな水？

昭和59年、当時の厚生省（現・厚生労働省）がおいしい水の水質要件などを検討するため「おいしい水研究会」を発足しました。全国の水道水の水質や水に含まれる成分などから、「おいしい水」とはなにかを研究し、下の表に示した７項目を「おいしい水の要件」とされました。

ただし、「おいしい水」の判断はたいへん難しく、個人的な好みや天候（外気温度）などの条件にも左右されます。



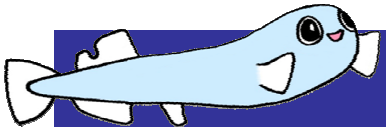
安城の水はおいしい？

「おいしい水研究会」が示したおいしい水の要件と、安城市における水道水の水質検査結果を見てみましょう。

項目		単位	要件値	国が定めた水質基準等	水道水の水質検査結果		
					北部浄水場	中部配水場	南部浄水場
におい	残留塩素	mg/L	0.4以下	1.0以下	0.51	0.53	0.51
	臭気強度	―	3以下	3以下	1未満	1未満	1未満
味	蒸発残留物	mg/L	30～200	500以下	71	48	149
	硬度	mg/L	10～100	300以下	14	20	40
	遊離炭酸	mg/L	3～30	20以下	2	5	5
	過マンガン酸カリウム消費量	mg/L	3以下	3以下	0.8	1.4	1.0
	水温	℃	20以下	―	18.0	15.5	19.1

※浄水場、配水場出口での令和6年度における年間平均値。

残留塩素は、水道供給先の末端で0.1mg/L以上保たなければならないため、浄配水場出口では高めの数値となっていますが、「おいしい水研究会」の示した要件と比べると、安城市の水道水は比較的おいしい水といえます。



水質要件の7項目ってなに？

においに関する項目

残留塩素

水中に残っている、消毒用の塩素の量です。法律で水道水中に塩素が0.1mg/L以上残留することが定められています。残留塩素の濃度が高すぎると、カルキ臭の原因となります。

臭気強度

水についているにおいの強さを表します。においの種類は限定されていませんが、カビ臭や藻臭など水に不快なにおいがついているとまずく感じます。

味に関する項目

蒸発残留物

水が蒸発した後に残る物質で、成分は主にミネラル分です。ほどよく含まれるとまろやかになりますが、多く含まれると苦みや渋みなどを感じます。

硬度

カルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分の含有量を示します。硬度の低い水はクセがなく、高いと好き嫌いがでます。

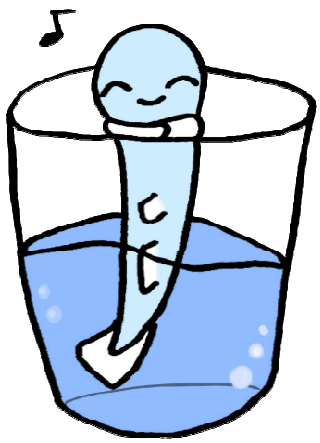
遊離炭酸

水に溶けている炭酸ガスのことです。水にさわやかさを与えますが、多すぎると刺激が強くなって、まろやかさが失われます。

過マンガン酸カリウム消費量

水に含まれる有機物濃度の指標で、多く含まれていると味に渋みが感じられます。

水温

冷やすことによりおいしく飲めます。10～15℃の水は、清涼感のあるおいしさを感じさせるといわれています。

いろいろな項目が水のおいしさへ影響していることがわかるね。